

# 公益財団法人 全国学校農場協会新聞

## 第2号

発行所  
公益財団法人  
全国学校農場協会

東京都渋谷区  
円山町2-20

### 全国大会2日目

研究協議および講演が  
おこなわれました。

### 研究協議

研究協議では、3名の先生から発表いただいた。

### 将来の農業を担う専門人材育成について

本校におけるSPH事業の取り組みについて

群馬県立勢多農林高等学校  
教諭 松島 伝一

平成28年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール指定校

「勢農ブランド確立への挑戦！未来の農業を拓く専門人材育成プログラムの開発」地方創生や成長産業としての農業を担うための資質・能力の育成」について  
研究計画1年次ではプロジェクト学習の基礎の習得、2年次ではプロジェクト学習の実践活動、3年次ではプロジェクト学習の応用活動を中心とする学習活動で学校科目として計画する。  
学校設定科目では「農業経営実践」でGAPや有機認

証制度の概念や取り組み、農畜産物の6次産業化とブランド化について学習する。

評価方法、全校統一基準であるルーブリック評価により判定。課題はルーブリック評価の導入による目標の明確化によって意識や意欲の向上を図り、ポートフォリオを活用し、キャリア教育の推進を図る。

※ルーブリック(Rubric)とは、学習到達度を示す評価基準を観点と尺度からなる表として示したものである。主に、パフォーマンス課題を評価するために使われる。



知的財産学習と専門学習を融合した研究活動の展開  
地域・企業等と連携した知的財産学習のシステム作りと校外指導体制の充実  
岐阜県立大垣養老高等学校  
教諭 箕浦 誠

ユネスコ・スクール認定校

体験的な知的財産の学習の充実、指導者の要請と組織体制の強化、各学科で知的教育の定着・地域企業と連携・知財学習実践・模擬企業Broom(バイコム)の発展と連携継続・知識と技術を活用した「商品開発」を実践、アイデア創出による実践学習のベース、「知的財産ミックス」を意識、知的財産学習を広げる研修、ハツシモパンの開発による米消費拡大、地産地消パンの開発、ローソンとの共同開発パンの地域販売、養老鉄道との連携、交流事業、活用できる知的財産教育、専門学習と知的教育の融合と定着について報告した。



農業生産者としての規範意識を身につける「生産工程管理」の学習指導

農産物の生産工程管理に自己審査と他者審査を位置つけた協働学習活動を通して福岡県立福岡農業高等学校  
主幹教諭 鬼木 清

平成26年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール指定校

「規範意識を身につける」とは、農業に従事する者として生産を行う際、規範(ルール)を守り、それに基づいて判断し行動しようとする意識をもつことである。取り組みとして気付く、深める、活かすことが出来る生徒の育成を目的とした。結果として安全な農作物について意識の希薄さに気づき、価値基準を作ることが出来る生徒となり、価値基準を基に実践する生徒について報告した。





吉田 行郷 先生

農林水産省 農林水産政策  
研究所 企画広報室長 兼  
主席政策研究調査官

それぞれのプロジェクト  
に対する評価と労いのお言  
葉をいただくとともに、農  
業教育のこれからの取り組  
みについて、様々なご指摘  
をいただいた。



堀内 昭彦 先生

文部科学省初等中等教育局  
児童生徒課産業教育振興室  
産業教育調査官

指導講評

障害者が行っている作業  
(農業以外)の特徴として、  
事務の補助作業・工場、作  
業所でのライン作業・清掃  
クリーニング・在庫管理、  
配送補助であったが、障害  
者福祉施設の農業分野への  
進出状況が増加している。  
農業活動の作業内容は、  
は種、収穫、雑草取り、販売  
などがある。福祉法人が農  
業を行っている理由として、  
障害者の健康、精神に好ま  
しいので実施していること  
が多い。障害者を雇用して  
成功している農業生産法人  
の紹介を頂き、今後の障害  
者の農業分野での就労の意  
義、今後の可能性と展開方  
向、求められる支援につい  
て講演された。

平成29年度 農業教育  
功労者表彰受賞者紹介

長年にわたる農業教育へ  
の御尽力に感謝いたします。

功労者表彰受賞者(敬称略)

- \*北海道支部  
西田丈夫 高橋義輝 小笠  
原鉄男 遠藤信明 安田肇

- \*東北支部  
上原子勇一 工藤宏司 石  
川正悦 高橋樹久 菅井春  
長 尾形政幸 大友一男  
田代茂充 八城敏広 伊藤  
一郎 佐川智子 星久一郎  
安部穰 渡邊芳広
- \*関東支部  
友光俊一 久保光男 栗原  
明 鈴得涉 新井憲治 宇  
梶一哉 岡幾生 佐怒賀淳  
小久保茂 片山利明 坂本  
彰司 小材光二 高橋始  
中臺正人 浅井清孝 菅谷  
明 岩澤孝一 萩原義文  
高橋等 鈴木正道 林徳一  
中村吉一 齋藤郁夫 小磯  
静一 川上利夫 鶴澤守  
滝川清市 古矢拓夫 松村  
勇 猪瀬仁市 田山哲雄  
柳田悦男 花塚孝太 松本  
文夫 大木高之 小林正活  
平石厚夫 薄井孝夫 小淵  
悟 小淵衛 中島勝人 野  
田光彦 松村鍊一 後藤克  
己 岡野友美子 加藤充宏
- \*北信越支部  
堀孝臣 藤樫幸博 竹田誠  
松田昇平 川縁一彦 萬谷  
清澄 櫻打哲一 立野明彦  
田畑正村 嶋田宏行 中村  
泰久 小椋勇人 宮川今朝

- 男 滝沢公男 小田切貴志  
西村清利 小平隆通
- \*近東支部  
坂口卓司 小久保清隆 梶  
田靖 水野敏彦 白井秀典  
長坂隆夫 村上直 林博康  
福井強志 伊藤曉 瀬木宏  
一 鎌田高行 齋藤俊彰  
中北隆也 村嶋賢 森和久  
川崎佐剛 浅井隆博 塚脇  
直樹 角野裕彦 鍋嶋一弘  
小林隆司 今井洋 山本茂  
阪下利弘
- \*中国支部  
谷輝久 西口幸雄 石原敏  
男 経種良作 横山孝三  
金平邦男 高山康弘 小林  
秀之 橋本敏次
- \*四国支部  
桑原敏之 中村勝典 古市  
守 美濃淳
- \*九州支部  
田中知史 藤井安壽 河原  
優 松村秀則 大石義昭  
吉田博行 荒木清史 江口  
保彦 山口四郎 林秀樹  
田中豊彦 井上勝文 渡辺  
正敏 後藤修 中山昌己  
三森孝一 松本弥 宮崎幹  
生黒木悟 湯地誠 矢田憲  
太朗 尾前利明 長雅彦  
中村雄 平安山良政



東京農業大学  
TOKYO UNIVERSITY OF  
AGRICULTURE  
〒156-8502東京都世田谷区板倉1-1-1  
www.nodai.ac.jp

農学部 応用生物科学部 生命科学部  
地域環境科学部 国際食料情報学部 生物産業学部

2018年4月 新たに2学科が新設

農学部 生物資源開発学科  
農業の基盤となる「生物多様性」をキーワードに、持続可能な社会を実現する。  
デザイン農学部  
生き物や農畜産物に眠る「機能性」。それらを利用して豊かな未来を設計する。